

## 新規事業

### 特別支援学校ICT活用レベルアップ研修

GIGAスクール構想により、特別支援学校では、1人1台端末に加え、障がいにより端末操作に困難さがある児童生徒が使用する入出力支援装置等が整備されました。障がいのある児童生徒の学習においては、例えば、文字を読むことが難しい子どもには、音声読み上げソフトを用いたり、手指にまひがあり鉛筆を持つことが難しい子どもには、視線入力装置を用いることで入力ができたりするなど、ICTを適切に活用することで、障がいによる学びづらさを補い、学習を支援することができます。

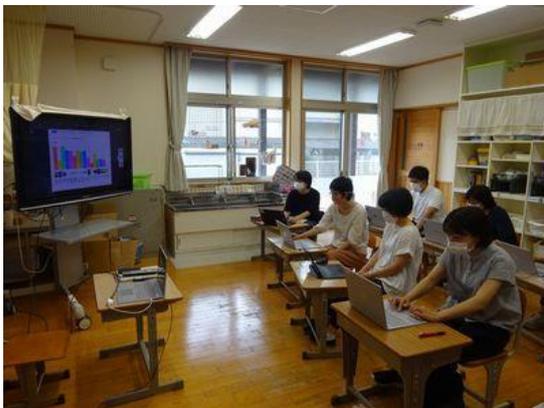
そこで、県教育委員会では、今年度から「特別支援学校ICT活用レベルアップ研修」を実施し、各学校においてICTを効果的に活用し、児童生徒の障がい特性や教育的ニーズに応じた指導が充実するよう、県立特別支援学校教員のICT活用指導力の向上を図っていくこととしています。

#### <事業内容>

特別支援教育に携わる教員のICT活用スキルは、児童生徒の障がいの状態に合わせた機器や学習アプリの選択、認知特性に応じた自作教材の作成等、幅広いスキルが求められることから、各学校において実情に応じた外部講師を選定・招聘し、年間5回の研修を実施しています。

#### <研修の様子>

##### 【ロイロノートの有効な活用方法について】



#### <研修内容>

教員一人一人が実際に端末を操作しながら、ロイロノートのカードの作り方や提出の仕方など児童生徒目線での使い方と、アンケートの作成方法や回答表示、シンキングツールの活用など教師目線での使い方の両方を学びました。

#### <研修成果>

文字だけでなく、音声や動画でのやり取りが行えることで、知的障がいのある児童生徒が、自分のペースで繰り返し視聴し、課題に取り組めることが分かりました。

## 【ICT活用における入出力補助装置づくり】



### <研修内容>

肢体不自由児の学習活動に生かせる、「改造マウス」「プッシュスイッチ」等の機器を講師の説明を受けながら実際に作成しました。

### <研修成果>

どの機器も既製品が販売されていますが、手作りすることで、児童生徒の実態に合わせて、高さや角度などを自分で調節する技術を学ぶことができました。また、機器に関する基本的な知識や技術も学ぶことができ、苦手意識の軽減にもつながりました。

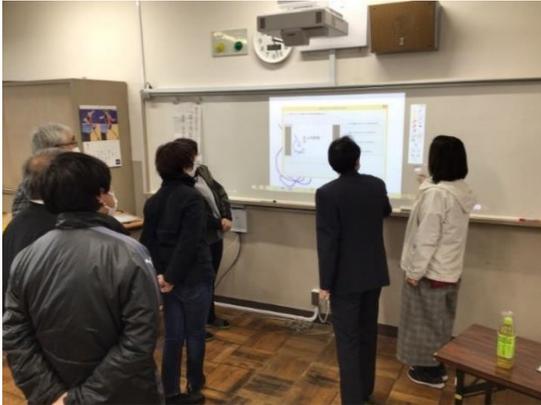
## 【各特別支援学校の研修テーマ】

	研修1	研修2	研修3	研修4	研修5
松山盲学校	盲ろう者・視覚障がい者における情報機器利活用ー最新のモバイル機器を中心にー		ICTを活用した授業づくり～実践事例を通して～	デジタル社会における視覚障がい者の情報アクセス	最新デバイスによる視覚障がい者の移動支援
松山聾学校	マイクロソフト365の使い方 ①②		卒業後や放課後でのICT活用状況	未来社会を切り拓く情報活用能力の育成とICT活用能力 ①②	
しげのぶ特別支援学校	Googleのサービスを活用した教材制作		学び続ける場としての学校～イノベーションから常態へ～	身近なICT機器、地域とのつながりを感じる教材	
みなら特別支援学校	ICTを活用した障がい児たちの可能性の発掘①②		ロイノートの有効な活用方法について①②		電子黒板の活用について
松山城北分校	学び続ける場としての学校：イノベーションから常態へ	Microsoft365の機能と利用方法について	クラウドサービスを活用したオンライン教育の可能性		電子黒板を活用した授業改善
今治特別支援学校	iPadを活用した授業実践・オンライン講習	GIGAスクール構想の1人1台環境を生かす新しい学びのスタイル	就労につながるICT活用	ICT環境を生かした新しい学びのスタイル	
宇和特別支援学校(知的障がい部門)	ICT教材活用研修	交流先とZoomでつながる効果的な方法	ICTを使った授業実践(遠隔での交流の実践事例等)	実践「〇〇小学校との交流」	「〇〇小学校との交流」実践報告会
宇和特別支援学校(聴覚・肢体不自由部門)	PCを用いた教材づくり、支援機器の活用	ICTを利用した効果的な授業の展開	入出力装置の効果的な活用	Google Classroom クラウドを利用した双方向の授業について	
新居浜特別支援学校	GIGAスクール環境における新しい学びのスタイル	クラウドサービスを利用した授業改善	情報モラルと学校における著作権	ICTを活用した授業改善	学び続ける場としての学校：society5.0時代に求められる生きる力(ライフスキル)
川西分校	Microsoft365について	重度・重複障がい児のICT活用	肢体不自由児の効果的なICT活用	学習活動に生かせるICT教材の作成	ICT活用における入出力補助装置づくり
みしま分校	これからの知的障がい教育におけるICT活用の意義と実際	クラウドや統合アプリの活用	ICTを活用した授業改善の実際	1人1台端末やコンテンツ、アプリの活用	デジタルコンテンツの効果的な活用、iPadによる動画編集

【主な外部講師】

- ・ 東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員
- ・ 愛媛大学教育学部 教授
- ・ 株式会社ロイロ
- ・ 株式会社フェローシステム障害福祉事業部

(その他の研修の様子)



【電子黒板を活用した授業改善】



【デジタル社会における視覚障がい者の情報アクセス】



【重度・重複障がい児のICT活用】



【PCを用いた教材づくり、支援機器の活用】

新型コロナウイルス感染症予防のため、オンライン型と集合型併用のハイブリッド型研修が多くなりましたが、オンライン型で実施することで、県内の特別支援学級の先生方にも参加していただくことができました。この研修をきっかけとして、地域の小・中学校等に在籍する児童生徒を含めた県内全体の特別支援教育におけるICT活用スキルが一層向上することを期待します。

外部講師の皆様には、各学校の実情に応じた研修を実施していただき、感謝申し上げます。機器操作に関するハードルとICT活用に係る心理的なハードルを軽減し、児童生徒の教育に必要な教員各々のICT活用スキルの更なる向上のため、今後とも本研修へのご協力をお願いいたします。